

ジンシャリ

盆美ニュース JINSHARI



さいたま市

大宮盆栽美術館 vol.42 2022.7



収蔵品紹介 欖 (A-118)

盆栽界で「吉田茂の欖」と呼ばれる、日本盆栽協会の初代会長でもあった元内閣総理大臣の吉田茂氏が愛蔵した盆栽。大樹の欖を思わせる力強い根張りや太幹に、洗練した技術を感じさせる精巧な枝先が共存している名樹。吉田氏の没後に政治家・福永健司氏に託され、平成27年(2015)に子息であるさいたま市在住の政治家・福永信彦氏から寄贈された。

昭和39年(1964)の「オリンピック記念盆栽水石展」(主催：東京都、協賛：日本盆栽協会、会場：日比谷公園)出品を記念して、昨夏の東京2020オリンピックパラリンピックに合わせ初公開し、盆栽庭園で常設展示している。夏季は陽光を浴び濃緑に輝く葉と、涼やかな印象を与える淡青色の澱青釉盆器との組み合わせがひととき美しい。

推定樹齢 160年

「ジンシャリ」とは？

歳月を経た松柏盆栽は、幹や枝の一部が枯れて、そのままの形を残すことがあります。枝は「ジン(神)」、幹の部分は「シャリ(舍利)」と呼ばれる、盆栽の見どころのひとつです。ニュースレター「ジンシャリ」では、大宮盆栽美術館の見どころを紹介していきます。



展覧会紹介

さいたま市大宮盆栽美術館では、この夏から秋にかけて、3つの企画展を開催します。

1つ目は、当館の夏の定番、企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」(7月16日～8月31日)です。平成25年度(2013)から開催している本展も、今年で10回目となります。毎年、少しずつリニューアルしながら、子どもたちの夏休みの自由研究の参考となるような、盆栽にまつわる数々の“ぎもん”や“ふしぎ”を取り上げ、写真や図などでわかりやすく解説しています。ここ数年は、フィギュアやプラモデル、ブロック、さらには紙やビーズなどで制作された盆栽の“おもちゃ”の収集と展示にも力を入れています。今年も新作のおもちゃが登場しますので、ぜひお楽しみに。

2つ目は、企画展「山水涼景～水石の世界」(7月22日～8月17日)。自然の石の形状に山や海辺の風景などを重ねて鑑賞する水石は、古くから盆栽とともに歩んできた歴史があります。ひと口に水石と言っても、そこにはさまざまな形状の石や、あるいは歴史上の人物によって愛好されてきた歴史のある石など奥深さがあります。本展では日本水石協会の協力のもと、初心者の方にも楽しめる水石の世界を紹介します。

3つ目の企画展「白砂と石の風景～『盆石』の旅」(9月9日～9月21日)は、細川流盆石の協力のもと、水石と同じく盆栽の周辺にある日本の伝統文化「盆石」を紹介するものです。白砂と石によって、真塗の盆上に山水の景観を描く盆石は、自然物を持ちいて、小さな空間(盆)に山水の情景をイメージする点において、盆栽や水石に共通する芸術作品です。この機会に、盆栽とあわせて、“盆上の芸術”の魅力に触れていただければ幸いです。



夏休み子どもぼんさい美術館



山水涼景～水石の世界



白砂と石の風景～「盆石」の旅

企画展 関連イベント

- 夏休み展オンライントーク 7月18日(月祝) 10:00～11:00
- 盆石デモンストレーション 9月17日(土) 13:30～14:30

※ イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

展覧会情報

〈コレクションギャラリー〉

■ 季節の展示 盆栽展 〈四季〉

7月 **こぼれる陽光** 7月 1日(金)～7月20日(水)

8月 **緑陰の涼** 8月19日(金)～8月31日(水)

9月 **秋空を背に** 9月 2日(金)～9月28日(水)

※ 企画展「盆石」開催期間中は、コレクションギャラリーの一部及び庭園で展示します。

■ 企画展「山水涼景～水石の世界」

7月22日(金)～8月17日(水)

■ 企画展「白砂と石の風景～『盆石』の旅」

9月9日(金)～9月21日(水)

〈企画展示室〉

■ 企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」

7月16日(土)～8月31日(水)

■ 歴史と文化 盆栽クロニクル (年代記) 特別展特集展示

9月17日(土)～11月23日(水)



次回展示準備中！

令和4年度特別展

「Life with Bonsai ～はじめよう、盆栽のある暮らし」

コロナ禍のなかで、当館をはじめ、大宮盆栽村の各盆栽園において、少しずつではありますが、ある確かな変化を感じはじめています。それは、当館においては来館者層に若者が目立つようになったこと、そして盆栽園では、若手盆栽職人の活躍と、盆栽教室への若者の参加者の増加です。キーワードは「若者」であり、背景にはコロナ禍で改めて見直された“おうち時間”の格好の趣味として、「盆栽」が見出されようとしていることにありそうです。

本年度の特別展のテーマは、いま改めて、あるいは初めて触れようとするみなさんの盆栽趣味への入り口を開くこと、そして、そっと背中を押すために、現代の私たちの生活と盆栽—Life with Bonsaiの在り方を模索し、提示することにあります。ただいま、Life with Bonsaiを体現するリーディングパーソンを模索中。

はじめよう！ 盆栽のある暮らし。

(学芸員 田口文哉)



イギリスから来ました！ 盆栽の魅力を紹介します



イギリスから来たタートンと申します。国際交流員として大宮盆栽美術館で働いています。海外でも盆栽は大人気ですので翻訳などで日本と海外の交流を深めようと励んでいます。

美術館に勤務するまで、盆栽についてはほとんど知りませんでした。もう大ファンになりました。同じ種類の木でも様々な樹形で表現することができるので、盆栽師と自然の力に感服します。イギリスにも園芸はありますが、盆栽は本当にユニークです。

海外向けに、盆栽の情報と私の経験についてSNSで投稿していますので、大宮盆栽美術館の公式SNSを是非見てください！

(国際交流員 ハリー・タートン)

Gardening is very popular in my home country of the UK, but bonsai is truly unique. I hope to help spread this living art to more people abroad!

Harry Turton / CIR : Coordinator for International Relations

盆栽 ♪ だより

春の植え替えシーズンが終わり、夏を迎える盆栽の管理

盆栽には植え替えの適期があります。松柏盆栽等、多くの盆栽は春の3～4月に植え替えるのが一般的です。皆さんの盆栽も無事に植え替えができたでしょうか？

当館では、3月に盆栽初心者の方向けの講座として、盆栽植え替えデーを実施しました。講師の指導を受けながら植え替え作業をする講座です。当館のワークショップで仕立てたハウチワカエデの盆栽や、真柏の盆栽についての植え替え希望が多かったです。持ち寄った盆栽を前に「今年は花が良く咲いた」「私の盆栽どう?」といった参加者同士の交流もあり、皆さんが普段から楽しんで盆栽を育てている様子が伝わってきました。

参加者からは「植え替えた盆栽を、今後どのように育てていったらいいのか相談したい」という声もありました。特に、枝の剪定や樹形づくりで悩む方が多いようです。今後はそうしたテーマごとの技術指導も視野に入れて、盆栽のアフターフォロー講座を実施していきたいと思います。



植え替えデーの様子



植え替え前



植え替え後

黒松の盆栽を持参した方は、植え替えで盆器を変え、盆栽の正面も変えました。

(学芸員 石田留美子)

また、これからの夏の季節の盆栽管理をどうしたらいいのかという質問もありました。夏の盆栽管理は、水やりと日照の管理がとても重要になります。人間と同様、盆栽は生きていますので、暑い時期は水量の調整が必要です。回数は多過ぎてでも少な過ぎてでも植物の生長に適さないので、土の乾燥具合を見ながら水やりをしてください。土の乾燥具合は、目で見て、土を手で触って確認しましょう。乾燥している時は、土は白っぽくなり、カサカサしています。水やりの際は、内部まで十分に水が浸透するよう、底から水が出るまで行います。日中の水やりが難しいという方は、朝と夕方にたっぷりと水やりをしてください。

日照は、直射日光が長時間当たり続けるのは危険です。西日が強く当たる場合は半日陰を作る等の工夫をしてください。ベランダで育てている方はコンクリートの照り返しに注意して、盆栽を棚に乗せるなどで床から高さがあると反射熱を避けられます。暑さ対策を十分にして、盆栽も私たちが夏を元気に過ごしましょう。

(学芸員 石田留美子)

普及活動紹介

さいたま市立小学校の学校見学 ～コロナ禍で見えてきたこと

当館では、さいたま市立小学校を中心に校外学習等の学校見学を受け入れています。昨年度は例年より約500人多い、約1,900人の児童たちが来館しました。

現在は、密にならない、屋内では声を発しないという限られた条件の中で、班ごとのグループに分かれた見学や、クラスごとにバスの中で学習するなど、様々な工夫を取り入れたプログラムで実施をしています。

私は、バスの中で館内の盆栽見学前と後の学習を担当しているので、見学前と後の子どもたちを見比べることができるのですが、見学を終えて戻ってきた子どもたちを見ると、目の輝きが違うので充実した体験をしてきた様子がすぐにわかります。

ある冬の日、バスに戻ってすぐに「花も、葉もない、木だけの野梅がすごかった!」と興奮しながら教えてくれた子がいました。「どこからそう思ったの?」と聞くと、「よくわからないけど、生きていて感じがした。」とのこと。形がおもしろかったり、葉が鮮やかだったり

いった一見して目立つ盆栽だけでなく、目には見えない盆栽そのものが持っている力強さを感じとってくれたのかと嬉しく思いました。自分の見方で「なんかいい!」と感じたことを伝えるという、美術鑑賞のあり方を改めて感じた出来事でした。

様々な変化に対応し、いろいろと試行錯誤しながら実施している学校見学ですが、これからも子どもたちと一緒に盆栽の「なんかいい!」ところをたくさん発見していきたいです。

(学芸員 石田留美子)



7 July

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
ST						
10	11	12	13	14	15	16
						ST
17	18	19	20	21	22	23
WS	企画展 イベント					実技
24	25	26	27	28	29	30
						ST
31						

8 August

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
ST						
14	15	16	17	18	19	20
						ST
21	22	23	24	25	26	27
WS						実技
28	29	30	31			

9 September

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
ST						
11	12	13	14	15	16	17
						企画展 イベント
18	19	20	21	22	23	24
子ども WS						実技
25	26	27	28	29	30	

展覧会

〈コレクションギャラリー〉

季節の展示 盆栽展く四季 > 7/1(金) ▶ 7/20(水)
8/19(金) ▶ 8/31(水)
※企画展「盆石」開催期間中は、コレクションギャラリーの一部及び庭園で展示します。

企画展「山水涼景〜水石の世界」 7/22(金) ▶ 8/17(水)

企画展「白砂と石の風景〜『盆石』の旅」 9/9(金) ▶ 9/21(水)

定例イベント

- ST スライドトーク 13:30 ~
- 子ども 子ども向けワークショップ 10:00 ~ 11:30 ※
- WS 盆栽ワークショップ 14:00 ~ 15:30 ※
- 実技 盆栽実技 13:30 ~ 14:30

イベント

- ゆかた de 盆美 7/16(土)~8/31(水)
ゆかた、甚平または和服で来館すると観覧料が無料になります。
- 夏休みワークショップ こけ玉盆栽づくり※
7/29(金)、30(土)、31(日)いずれも 10:00 ~ 11:30 / 14:00 ~ 15:30
8/7(日)、8(月)、19(金)、20(土)いずれも 10:00 ~ 11:30
※は事前申込み。申込方法など詳細は当館ホームページをご覧ください。

開館時間 9:00~16:30(3月~10月) / 9:00~16:00(11月~2月) ※入館は30分前まで

休館日 木曜日 ※祝日の場合は開館、年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般 310円(200円)
高大生・65歳以上 150円(100円)
小中学生 100円(50円)
※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額
*() 内は20名以上の団体料金

年間パスポート好評発売中!
一般 1,040円 / 高大生・65歳以上 520円 / 小中生 310円

発行 さいたま市大宮盆栽美術館

〈企画展示室〉

企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」 7/16(土) ▶ 8/31(水)

歴史と文化 盆栽クロニクル(年代記) 特別展特集展示 9/17(土) ▶ 11/23(水)

電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン(野田線)「大宮公園駅」下車 徒歩10分

車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km

駐車場: 一般車両39台(2時間まで無料)
大型車3台(880円)、障害者用2台(無料)

〒331-0804
埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323
https://www.bonsai-art-museum.jp



さいたま市
大宮盆栽美術館
Bonsai Art Museum